

事業所名

スマイルのお家みよし

支援プログラム

作成日

2024 年

11 月

5 日

法人（事業所）理念	友達と一緒に遊びや活動、作業を通じてコミュニケーションを取り、集団生活への参加そして将来の自立へ向けた支援を行い、優しく温もりのあるお家、安心感、達成感、充実感を感じて生きる喜びを味わえる空間を目指しています								
支援方針	利用者が日常生活における基本動作を習得、及び集団生活に適応することができるよう、身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて適切かつ効果的な指導及び訓練を行う。利用者の意思及び人格を尊重して、常に利用者の立場に立ったサービスの提供に務める。								
営業時間	(平日)	9 時	30 分	から	18 時	30 分	まで	休業日	日曜・祝日・盆休み・年末年始・その他営業カレンダーによる。
	(学校休業日)	8 時	30 分	から	17 時	30 分	まで	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	所時の検温、支援中の細かな見守りにより心身の健康状態を把握します。児童が安心して過ごせるように、1日のスケジュールを可視化し児童と確認します。食事・排泄・衣類の着脱、身の回りを清潔にする等の生活に必要なスキルを獲得できるよう、児童の状態に合わせて必要に応じて支援します。障害の特性や身体各部の状態を理解し、状況に応じて自己の行動や感情を調整したりしながら、より生活しやすい環境にしていくための支援をします。							
	運動・感覚	日常生活に必要な基本的な動作をスムーズに行えるよう、適切な姿勢を保ったり、手足などを動かしたりする能力の向上を図ります。保有する感覚（視覚・聴覚・触覚等）を十分に活用できるよう、ボール遊びや室内ブランコ等、感覚統合を促す遊びも積極的に取り入れて支援します。感覚の特性（感覚の過敏や鈍麻）を踏まえ、感覚の偏りに対する環境調整等の支援を行います。							
	認知・行動	視覚・聴覚・触覚等の感覚を十分活用して、必要な情報を適切に集めることで、児童の認知機能の発達を促す支援を行います。ひとりひとりの児童の認知特性を理解し、情報処理を適切に行えるよう支援します。こだわりや偏食など、個々の特性にも配慮して支援します。感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難性から生ずる行動障害の予防や、適切行動への対応の支援を行います。							
	言語・コミュニケーション	障害の種別や程度・興味・関心に応じて、言語によるコミュニケーションだけではなく、表情やジェスチャーなどを用いて意思のやりとりが行えるようにするなど、コミュニケーションに必要な基礎的な能力を身につけることができるよう支援します。相手の意図を理解したり、特性に応じて様々な手段で自分の考えを相手に伝えたりするなど、言語を受容し表出できるよう支援します。							
	人間関係・社会性	児童が環境や人に対する安心感や信頼感を持つことができるように支援します。一人遊びから並行遊び、大人が介入して行う遊びから役割分担したりルールを守って遊ぶ協同遊びを通して、徐々に社会性の発達を支援します。集団に参加するための手順やルールを理解し、希望に応じて遊びや集団活動に参加できるよう支援をするとともに、活動を通じて相互理解や互いの存在を認め合いながら、仲間づくりにつながるよう支援します。他者の気持ちや意図を理解し、他者からの働きかけを受け止め、それに応ずることや場に応じた適切な行動ができるよう支援します。							
家族支援	送迎の際に自宅での様子を聞き取りしたり、事業所での様子を共有します。連絡帳を用いて情報の共有をします。				移行支援		利用者や職員だけでなく、地域の方々と関わる機会をつくります。金銭管理や家事等の生活スキルを向上させる活動機会をつくります。		
地域支援・地域連携	図書館や公園など地域の公共施設を利用したり、バスなどの公共交通機関を利用し、地域資源を活用します。				職員の質の向上		採用時研修 採用後3か月以内 継続研修 年1回		
主な行事等	(春季) お花見・ピクニックなど (夏季) プール等の水遊び・そうめん流しなど (秋季) ハロウィンパーティーなど (冬季) クリスマス会・節分・ひなまつりなど 【通年】 課外活動・ドライブ・クッキング・お出かけなど								